

第2号様式（その1）

整備項目表（建築物）

施設の名称			主要用途	
施設の所在地	那覇市		階数	地上 階・地下 階
階別	階別用途（具体的用途）	新築等の部分の床面積	既存部分の床面積	床面積の合計
（階）		m ²	m ²	m ²
（階）		m ²	m ²	m ²

（階）		m ²	m ²	m ²
（階）		m ²	m ²	m ²
（階）		m ²	m ²	m ²
合計		m ²	m ²	m ²

1 出入口	(1) 直接地上へ通ずる出入口のうち1以上の出入口の構造	ア 有効幅85cm以上	cm			
		イ 自動又は車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造	適	否		
		ウ 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
	(2) 駐車場へ通ずる出入口のうち1以上の出入口の構造	ア 有効幅85cm以上	cm			
		イ 自動又は車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造	適	否		
		ウ 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
	(3) 各室の出入口のうち1以上の出入口の構造	ア 有効幅85cm以上	cm			
		イ 自動又は車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造	適	否		
		ウ 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
	2 廊下等	(1) 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面		適	否	
		(2) 廊下等に段の設置（無の場合は、(3)の記入不要）		有	無	
		(3) 段の構造	ア 手すりの設置		有	無
イ 回り段を設置しない				適	否	
ウ 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面				適	否	
エ 識別しやすく、かつ、つまづきにくい踏面の構造				適	否	
オ 段の上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材の敷設				有	無	
(4) 直接地		ア 幅120cm以上	cm			

上へ通ずる出入口又は駐車場へ通ずる出入口から各室の出入口に至るそれぞれ1以上の経路の廊下等の構造	イ 末端の付近又は50m以内ごとに車椅子が転回することができる構造	適	否		
	ウ 高低差のある場合の措置	(ア) 傾斜路等の設置(無の場合は、工の記入不要)	有	無	
		(イ) 車椅子使用者用特殊構造昇降機の設置	有	無	
	エ 傾斜路等の構造	(ア) 幅120cm以上(段を併設する場合90cm以上)	cm		
		(イ) 勾配1/12以下(傾斜路の高さ16cm以下の場合1/8以下)	1 /		
		(ウ) 高低差75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場の設置	踏幅	cm	
		(エ) 手すりの設置	有	無	
		(オ) 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否	
		(カ) 踊場及び廊下等と識別しやすい色	適	否	
	(キ) 傾斜路の上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材の敷設	有	無		
オ 各出入口及びエレベーター等の昇降路の出入口に接する部分の水平の確保	適	否			
(5) 受付等まで誘導用床材の敷設又は音声による視覚障害者を誘導する装置等の設置	有	無			
3 階段	(1) 不特定かつ多数の者が利用し、かつ、直接地上へ通ずる出入口がない階に通ずる階段の設置(無の場合は、(2)から(6)まで記入不要)	有	無		
	(2) 幼児も利用し易い手すりの設置	有	無		
	(3) 主たる階段に回り段を設置しない	適	否		
	(4) 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否		
	(5) 識別しやすく、かつ、つまづきにくい踏面の構造	適	否		
	(6) 階段の上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材の敷設	有	無		
4 エレベーター	(1) 不特定かつ多数の者が利用し、かつ、直接地上へ通ずる出入口がない階(無の場合は、(2)から(4)まで記入不要)	有	無		
	(2) 床面積の合計(2,000㎡未満の場合は、(3)及び(4)の記入不要)	㎡			
	(3) エレベーターの設置(無の場合は、(4)の記入不要)	有	無		
	(4) エレベーターの構造	ア かごの床面積1.83㎡以上	㎡		
		イ かごの奥行き135cm以上	cm		
		ウ 車椅子の転回に支障のないかごの平面形状	適	否	
		エ かご内にかごの停止予定階及び現在位置の表示装置の設置	有	無	
		オ かご内に到着階及び戸の閉鎖を音声で知らせる装置の設置	有	無	
		カ かご内の側板に手すりの設置	有	無	
キ かご内に戸の開閉状態が確認できる鏡の設置		有	無		

		ク かご及び昇降路の出入口の有効幅85cm以上		cm	
		ケ かご内及び乗降ロビーに車椅子使用者等が利用しやすい位置に制御装置の設置	有	無	
		コ かご内及び乗降ロビーに視覚障害者及び聴覚障害者が円滑に操作できる構造の制御装置の設置	有	無	
		サ 乗降ロビーの広さ幅150cm以上×奥行き150cm以上		cm × cm	
		シ 乗降ロビーに昇降方向を音声で知らせる装置又はかご内に音声で知らせる装置の設置	有	無	
		ス かご内に非常の際その対応を知らせる非常ランプ等の設置	有	無	
5 便所	(1) 便所の設置（無の場合は、(2)から(11)まで記入不要）		有	無	
	(2) 車椅子使用者等用便房の構造	ア 車椅子使用者等が円滑に利用することができる床面積		cm × cm = m ²	
		イ 腰掛便座の設置	有	無	
		ウ 手すりの設置	有	無	
		エ 大便器の洗浄装置（くつべら式、光感知式その他の操作が容易なもの）	適	否	
	(3) 車椅子使用者等用便房及び便所の出入口の有効幅85cm以上			cm	
	(4) 車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造		適	否	
	(5) 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段		有	無	
	(6) レバー式等の操作が容易な水栓器具を備えた洗面器の設置		有	無	
	(7) 出入口付近に車椅子使用者等用便房がある旨の表示		有	無	
	(8) 便房へのベビーシートの設置		有	無	
	(9) 男子用小便器のある便所の設置（無の場合は、(10)の記入不要）		有	無	
	(10) 床置きで両側に手すりが適切に配置された男子用小便器の設置		有	無	
	(11) 視覚障害者及び聴覚障害者に非常警報を知らせる装置の設置		有	無	
6 駐車場	(1) 駐車台数（25台未満の場合は、(2)から(4)まで記入不要）			台	
	(2) 車椅子使用者用駐車施設の設置（無の場合は、(3)及び(4)の記入不要）		有	無	
	(3) 車椅子使用者用駐車施設の構造	ア 車椅子使用者用駐車施設に通ずる出入口から距離が短い位置に設置	適	否	
		イ 幅350cm以上		cm	
		ウ 車椅子使用者用駐車施設である旨を見やすい方法で表示	適	否	
	(4) 敷地内の通路基準に準じた駐車場内通路の構造		適	否	
7 敷地内の通路	(1) 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面		適	否	
	(2) 敷地内の通路に段の設置（無の場合は、(3)の記入不要）		有	無	
	(3) 段の構造	ア 手すりの設置	有	無	
		イ 回り段を設置しない	適	否	

	ウ 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否		
	エ 識別しやすく、かつ、つまづきにくい踏面の構造	適	否		
(4) 出入口から道等又は車椅子使用者用駐車施設に至るそれぞれ1以上の経路の通路の構造	ア 幅員120cm以上	cm			
	イ 高低差がある場合の措置	(ア) 傾斜路等の設置(無の場合は、ウの記入不要)	有	無	
		(イ) 車椅子使用者用特殊構造昇降機の設置	有	無	
	ウ 傾斜路等の構造	(ア) 幅120cm以上(段を併設する場合90cm以上)	cm		
		(イ) 勾配1/12以下(傾斜路の高さ16cm以下の場合1/8以下)	1 /		
		(ウ) 高低差75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場の設置	cmごと	踏幅 cm	
		(エ) 手すりの設置	有	無	
		(オ) 粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否	
(カ) 踊場及び通路と識別しやすい色	適	否			
(5) 出入口から道等に至る1以上の通路の構造	ア 誘導用床材の敷設又は音声により視覚障害者を誘導する装置等の設置	有	無		
	イ 車路に接する部分、車路と交差する部分並びに傾斜路及び段の上端に近接する敷地内の通路及び踊場に注意喚起用床材の敷設	有	無		
(6) 排水溝の設置(無の場合は、(7)及び(8)の記入不要)	有	無			
(7) 排水溝への溝ふたの設置(無の場合は、(8)の記入不要)	有	無			
(8) 溝ふたの構造	ア 滑りにくい表面仕上げ	適	否		
	イ 車椅子、ベビーカー等のキャスター及びつえ等が落ち込まない構造	適	否		
8 客席	(1) 固定式の客席の設置(無の場合は、(2)から(6)まで記入不要)	有	無		
	(2) 客席の数	席			
	(3) 車椅子使用者が利用できる区画、席数を200で除して得た数(その数に1未満の端数があるときはその端数を切り上げ、その数が10を超えるときは10とする。)以上	区画			
	(4) 車椅子使用者用区画の構造	ア 区画の大きさ幅85cm以上×奥行き110cm以上	幅	cm ×	奥行 cm
		イ 出入口から容易に到達でき、かつ、避難しやすい場所に設置	適	否	
	(5) 出入口から車椅子使用者用区画に至る1以上の通路の構造	ア 幅120cm以上	cm		
		イ 高低差の有無(無の場合は、ウの記入不要)	有	無	
		ウ 傾斜路等の構造	(ア) 幅120cm以上(段を併設する場合90cm以上)	cm	
(イ) 勾配1/12以下(高低差16cm以下の場合1/8以下)	1 /				
(ウ) 高低差75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場の設置	cmごと	踏幅 cm			

		(エ)粗面又は滑りにくい材料仕上げの表面	適	否		
		(6) 難聴者の聴力を補う装置の設置	有	無		
9 客室	(1) 客室の数(50以下の場合は、(2)から(8)まで記入不要)		室			
	(2) 出入口の構造	ア 有効幅85cm以上	cm			
		イ 車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造	適	否		
		ウ 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
	(3) 車椅子使用者が円滑に利用できる十分な床面積の確保		適	否		
	(4) 非常呼出し設備の設置		有	無		
	(5) 高齢者、障害者等に配慮した電話機、コンセント、スイッチ、収納棚等の設置		有	無		
	(6) 便所の構造	ア 車椅子使用者等 用便房の 構造	(ア)車椅子使用者等が円滑に利用することができる床面積	cm × cm = m ²		
			(イ)腰掛便座の設置	有	無	
			(ウ)手すりの設置	有	無	
			(エ)大便器の洗浄装置(くつべら式、光感知式その他の操作が容易なもの)	適	否	
		イ 車椅子使用者等用便房及び便所の出入口の有効幅85cm以上	cm			
		ウ 車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる戸の構造	適	否		
		エ 車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
		オ レバー式等の操作が容易な水栓器具を備えた洗面器の設置	有	無		
	(7) 浴室の構造	ア 浴室の出入口の有効幅85cm以上	cm			
		イ 車椅子使用者等が円滑に利用できる出入口の戸の構造	適	否		
		ウ 出入口に車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
		エ 腰掛台及び手すりの設置	有	無		
		オ レバー式等の操作しやすい水栓器具の設置	有	無		
カ 浴槽の縁の上端までの高さ		適	否			
キ 非常呼出し設備の設置		有	無			
(8) 視覚障害者及び聴覚障害者に非常警報を知らせる装置の設置		有	無			
10 共同浴室等	(1) 共同浴室等の設置(無の場合は、(2)の記入不要)		有	無		
	(2) 共同浴室等の構造	ア 共同浴室及び脱衣場の出入口の有効幅85cm以上	cm			
		イ 車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる出入口の戸の構造	適	否		
		ウ 出入口に車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無		
		エ 腰掛台及び手すりの設置	有	無		
		オ レバー式等の操作しやすい水栓器具の設置	有	無		

		カ 浴槽の縁の上端までの高さ	適	否	
		キ 非常呼出し設備の設置	有	無	
1 1	シャワー室等	(1) シャワー室又は更衣室の有無（無の場合は、(2)の記入不要）	有	無	
		(2) シャワー室等の構造			cm
		ア シャワー室又は更衣室の出入口の有効幅85cm以上			
		イ 車椅子使用者等が円滑に開閉して通過できる出入口の戸の構造	適	否	
		ウ 出入口に車椅子使用者等が通過する際に支障となる段	有	無	
		エ シャワー室の大きさ	幅	cm ×	奥行
		オ 更衣室の大きさ	幅	cm ×	奥行
		カ 腰掛台及び手すりの設置	有	無	
		キ レバー式等の操作しやすい水栓器具の設置	有	無	
		ク 非常呼出し設備の設置	有	無	
1 2	受付カウンター等	(1) 受付カウンター及び記載台の設置（無の場合は、(2)及び(3)の記入不要）	有	無	
		(2) 車椅子使用者の利用に配慮した高さ	適	否	
		(3) 下部に車椅子使用者が利用しやすい空間の設置	適	否	
1 3	公衆電話台	(1) 公衆電話台の設置（無の場合は、(2)及び(3)の記入不要）	有	無	
		(2) 車椅子使用者の利用に配慮した高さ	適	否	
		(3) 下部に車椅子使用者が利用しやすい空間の設置	適	否	
1 4	案内板等	(1) 案内板等の設置（無の場合は、(2)から(3)まで記入不要）	有	無	
		(2) 案内板の高さ、文字の大きさ等の高齢者、障害者等への配慮	適	否	
		(3) 点字による表示	有	無	
		(4) 車椅子使用者等用便房のある便所の案内表示	有	無	
		(5) 視覚障害者及び聴覚障害者に配慮した避難用誘導灯の設置	有	無	
1 5	授乳場所	(1) 授乳場所の設置（無の場合は、(2)の記入不要）	有	無	
		(2) ベビーベッド、椅子、その他の設備の設置	有	無	
1 6	共同住宅の住戸内	(1) 住戸の数			戸
		(2) 下記(3)から(6)の基準に適合した住戸の数			戸
		(3) 住戸の出入口の構造	ア 有効幅80cm以上		cm
			イ 粗面または滑りにくい材料仕上げの床面	適	否
		(4) 玄関の構造	ア 知覚しやすい上がりかまち	適	否
			イ スロープ化への改修可能な構造	適	否
		(5) 廊下等に通行の支障となる段	有	無	
		(6) 便所及び浴室の構造	ア 腰掛式便器の設置	有	無
			イ 滑りにくい材料仕上げの床面	適	否
			ウ 出入口の段差	有	無

備考 1 各項目について、該当するものを で囲み、又は数値を記入してください。

2 印欄は、記入しないでください。

3 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判縦とする。